

第2回いわき市スポーツ推進計画検討委員会

◆日時：令和2年3月30日（月） 午後3時00分～

◆場所：東分庁舎 5階 会議室

■出席者

(1) 委員（敬称略）：14名

区分	所属	氏名	備考
高等教育機関	東日本国際大学	福迫 昌之	委員長
スポーツ関係団体	いわき市体育協会	高羽 博樹	副委員長
	福島県エアロビック連盟	佐々木 喜栄子	
	いわき市スポーツ推進委員会	石井 文雄	
	いわき地区総合型スポーツクラブ連絡協議会	高田 幸子	
	(株)いわきスポーツクラブ	岩清水 銀士朗	
教育関係者 及び 関係行政機関	いわき地区高等学校体育連盟	比佐 功	
	いわき市中学校体育連盟	吉田 信治	
	いわき市小学校長会	平子 宗司	
	福島県いわき教育事務所	会川 政弘	
経済・観光団体	いわき商工会議所	酒井 比呂志	
	いわき経済同友会	波多野 和茂	
	(一社) いわき観光まちづくりビューロー	鹿崎 耕司	
その他	(株)L. A. P	伊藤 英雄	欠席
	(一財) いわき市公園緑地観光公社	松本 守利	

(2) 事務局：10名

文化スポーツ室	津田室長	
スポーツ振興課	蛭田課長	
	鈴木課長補佐	
	正木課長補佐	
	本田係長	
	小針係長	
	菅波係長	
	鈴木主査	
観光交流課	新妻主幹兼課長補佐	
創生推進課	松本課長	

■次 第

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項

(1) 市民アンケートの結果（速報）について

(2) 新たなスポーツに関する計画について

① 計画の名称について

② 計画の期間について

③ 計画の基本フレームについて

(3) その他

4. 閉会

■議事要旨

会長からの挨拶の後、協議事項について事務局が説明し、その後、意見交換が行われた。
以下に、各出席者の発言要旨を示す。

(1) 市民アンケートの結果（速報）について

委員長	只今、事務局から、「市民アンケートの結果（速報）について」説明がありましたが、皆様、御意見等ございますか
委員長	6万円は年額ということでよろしいですか。また、6万円はどのように使われていますか。
事務局	クロス集計を用いれば、使い道がもう少し見えてくるとは思いますが、ウォーキングのみで6万円の使用はしていません。
委員長	皆様からの御意見も出尽くしたようですので、本案件についての協議はここまでにしたいと思います。このアンケート結果を次期計画に生かしてまいりたいと思います。

(2) 新たなスポーツに関する計画について

委員長	事務局からは「③のいわき市スポーツ推進計画」としたいとの説明がありましたが、皆様、御意見等ございますか。
委員長	本件については、事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
委員長	異議なしと認めます。では、次期計画の名称については「いわき市スポーツ推進計画」といたします。 次に「②計画の期間」について、事務局の説明を求めます。
委員長	事務局からは「計画期間を10年」としたいとの説明がありましたが、皆様、御意見等ございますか。
委員長	本件については、事務局案の「計画期間10年」のとおりとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
委員長	異議なしと認めます。 では、次期計画の期間については「10年」といたします。 次に、「③計画の基本フレームについて」事務局の説明を求めます。
委員長	事務局からは前回の委員会での意見を反映した基本方針（案）や基本目標（案）、章立て（案）について説明がありましたが、この部分については、今後、計画を策定する上で最も重要な部分になるかと思えます。今、事務局の方で説明したこと以外でも構いません。各委員から、自由に御意見をいただければと思いますがいかがでしょうか。

委員	<p>「スポーツ振興計画」は中身が固く、市民がわかりやすいようにもう少し柔らかくならないのか。「スポーツ振興計画」は名前から固く、誰も見ようと思わないと思うため、キャッチフレーズ等をつけ、計画を身近なものとし市民に寄り添ったものにしたほうがいい。また、スポーツは「誰と」やるかが大切であると考えています。計画内に仲間づくりとありますが、家族・夫婦等の単位を新たに計画に取り込むとことで身近な計画となると考えます。</p>
委員長	<p>計画の名前の方は、一旦仮置きさせていただいて、副題として親しみやすいものに検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>マスタープランを市民に照会した際にもインパクトが薄い印象がありました。なので、身近に自分たちがこれからスポーツをどのように市民として取り組めるかも含めた計画であればベストではないでしょうか。</p> <p>また、サブタイトルは砕けたもので、子どもにもわかるようなインパクトのあるものの方がいいと思います。</p> <p>さらに、スポーツはもちろん競技性がありますが、健康を考えたときにはスポーツ振興課だけでなく、保健センター等との連携が必要となってくると考えます。例えば、公園等では子どもが使うものがなくなってきましたし、高齢者が公園等に行っても体を動かせる器具が無いため、増やしていくべきだと考えます。中国には、町の小さな公園にも簡単に体を動かせる健康器具が常設されており、一人一人が健康づくりに取り組んでいます。なので、シニア層にターゲットを変えていくことも大切ではないかと思います。</p>
委員長	<p>お二人からありましたが、サブタイトルなのか基本目標に書き込むべきなのか、その辺もさまざまな意見をいただきながら整理していきたいと思います。いずれにしても意図が伝わるようなものにしていく必要があると思います。</p>
委員	<p>サブタイトルは検討ではなく、付けたほうがいいと思います。計画を見る人が中身を一発で分かるようなものが必要であると考えます。</p> <p>前回の計画との違いを前に出し、基本方針に盛り込んでいけばより分かりやすくなると思います。また、スポーツ・健康に対して事業者がどのような活動をしているのかが分からないため、企業内で行っている活動の現状を把握し、これも基本方針、目標に反映できないでしょうか。</p> <p>基本目標の①・②・③は基本的にいいと思いますが、10年先を見た計画ということで、今生まれてきた子どもが10年後どのようなスポーツに参加しているのかを考えると少しは違った視点で計画を作成できるのではないかと思います。</p>
委員	<p>サブタイトルについて、市の方で緩いサブタイトルをつけると各方面から横槍が入ることがあるので、推進委員が是非このタイトルにしてほしいとすればいいのではないのでしょうか。</p>

委員	<p>3 ページ目の 2 章の部分について、現状の方はアンケートが反映されているように感じます。課題の方では、課題とは何かと比較し、足りない等のことがあって課題となるため、第 2 章の現状と課題の部分に何と比較したのかを明記したほうがいいのではないかと。したがって、どのような形でこの課題は出てきたのか教えていただきたいと思ひます。</p>
事務局	<p>課題につきましては、アンケートから見えてきた課題と、10 年後の理想像をイメージし、そのイメージと現状との差を課題として記載しております。</p>
委員長	<p>課題につきましても、検討委員の方々の生の声を大事にしていきたいと思ひております。では、他に御意見ある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>アンケートの回収が 3,000 名中 886 名ということで、この数字についてスポーツに興味ある方の数値なのではないかと考へている。また、忙しくて回答ができなかった人がいるかもしれないが、この結果から、市民のスポーツに対する意識が高まっていないのではないかと感じる。</p> <p>そのため、なぜ体を動かすのか、スポーツをすることの効果等を市民に理解してもらわなければ、計画があつても市民がついてこないと思ひます。スポーツ人口を増やす意味でも、これらのことを踏まえて計画を作成してもらいたと思ひます。</p>
事務局	<p>これまでアンケートを実施してきましたも、約 3 割の回答となっております。ちなみに、回答のすべてがスポーツを実施している人だけではなく、実施していない人からの回答もいただいております。</p>
委員	<p>計画の中で、計画の目的が健康づくりなのか人づくりなのか、はっきり見えてこないと感じました。</p> <p>位置づけについても、健康づくりであれば、その部門と連携しなければいけませんし、各種政策と連携するにも、しっかりとしたロジックを作らなければなりません。多く連携していくとこの計画が何を達成したいのか分からなくなるため、しっかりと柱を置いて計画を作成していただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>閉校した学校施設はどこの管理なのか分からない。第 2 章に「スポーツ施設としての学校の活用」とあるように、市で管理がされているのであれば、有効活用していただきたい。</p> <p>当時の東京オリンピックの写真を見た際に、感動するのはスポーツをやっている人にしか分からないと思ひています。そこで、スポーツを「見る」という部分に着目して、スポーツをやっている人等を写真で撮る「写真コンテスト」を催して、スポーツの経験がない人にも感動をしていただけますし、会場に足を運んでいただけることになると思ひます。</p>

事務局	<p>皆さんが、スポーツで何をしたいのか。</p> <p>スポーツがいわき市のどの環境をどのように可能性があるのか。</p> <p>その種が、各地域にどれだけ育っていて、それをどうみんなで支え、高みに持っていき、将来どうつながっていくのか。答えのない挑戦にスポーツを活用し実施していこうという時代である現在、この時に計画を立てるので予定調和な計画は全く意味がないため、検討委員の皆さんのそれぞれの立場からの思いを吐き出していただければ、現在の課題が浮かび上がってくると思います。その意見をフィードバックしてまとめ上げていくやり方をしていきますので様々な意見を出していただけるとありがたいです。</p>
委員	<p>「時代を担う子供たちを育成していく」とありますが、スポーツを通し、どのような子供を育成しようとしているのか。そして、次代のいわきを担う子供たちに届く計画になっているのかという視点が計画作成にとってとても必要になってくると思います。</p> <p>中山間地域では、スポーツをする環境がないために、部活がなく、やりたいと思ってもできないことがあります、引っ越しまでする人がいます。このような子どもたちをどのように育成しようとしているのか。いわき市では、このようなことを実施しますというメッセージがある計画でなければならないと思います。</p> <p>「スポーツによる魅力的なまちづくり」とありますが、何が魅力的なのか理念を全員で共有することで、その理念に沿って計画が出来上がっていくのではないだろうか。また、魅力的なまちづくりのためには、行政だけでなく民間のスポーツに興味のある方を取り込んで新たな仕組みづくりに取組み、人が人を呼んでくるような相乗効果のある取組みを取り入れていただければいいと思います。</p>
委員	<p>いわき FC を応援しなければいけないと思っております、応援する＝見に行くということで、見に行くことがスポーツとして含まれるのであれば、e-スポーツもやるだけでなく、見に行くだけでも経済が回り、地域活性化につながると思います。情報政策課の委員にもなっておりますが、どの計画を見ても「e-スポーツ」の記載がないという状況です。e-スポーツも同じスポーツとして考えられるのであれば、小さくても「e-スポーツ」の記載をしておいたほうがいいと考えます。</p>
委員長	<p>地域活性化という面では、「e-スポーツ」も選択肢に入ってくるとは思いますが、「健康」がベースとなってくると思われるので、計画の全体には関わってこないと考えられる。しかし、文化・エンターテインメントの部分では、力を入れていくべきという特徴という点で、e-スポーツが入ってくるかは課題として、取り入れていきたいと思えます。</p>

委員	<p>子どもたちは行くところが欲しいと思っています。植田のこども元気センターは環境が整っており、土日には子どもがたくさん来館します。なので、子どもは行くところがあれば行くことが分かります。</p> <p>また、公民館で開催されている教室でいっぱいになるのはフィットネス等の運動系で、大人や高齢者の方々には健康志向の方が多いように感じられます。さらに、総合型地域スポーツクラブと公民館活動との違いを出していく必要があると思います。公民館では各校にお知らせを撒いているため周知がされ、応募が多くなっています。このことから、どのように知ってもらうのか。知ってもらうことから始めていかなければならないと思いました。</p>
委員	<p>「スポーツ都市宣言」について、アンケートをとっているのでしょうか。スポーツ都市宣言は、目標であるため、アンケートによって数値を把握することでいわき市がスポーツに対しての意識がどのように変化しているのか分かる指標になるのではないかと思います。現在、アンケートをとっていないのであれば今後実施したほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>アンケートはとっていないですが、今後は大々的にアンケートをとることが難しいため、定点観測のようにイベント等でアンケートをとっていきたいと思います。</p>
事務局	<p>計画策定期間を10年間にするデメリットとして、役所は1回計画を作るとまた10年先に見直すことしかできなく、定点での観測をしなくなります。例えば、計画の射程距離は10年とし、5年で一旦、時代の変化や計画の進捗状況等のギャップを確認し、もう一度ローリングしていく。もしくは、最初から5年の短期で実施可能なものをかいて、出来ていなければ変更していくという形にしてもいいと思う。どのような計画にするのかということに付随して、計画をいつまで見るのかまで、皆様の意見で決定していただければと思っています。</p>
委員	<p>マネジメントの話になってしまいますが、実態があるため、目標を立てて、実施をし、チェックをし、改善をしていく。計画を立て、ただ実行するだけではうまくいかないため、どこかでチェックを入れながら改善をかけていくことで目標に近づいていくと思う。しかし、期間が長すぎるとそれも難しい。なので、戦術と戦略を上手く組み合わせることで、実行の部分が上手くいく。上手くいけば、その計画が市民にとって近いものとなっていくのではないかと考えます。</p>
委員	<p>平成26年から令和2年までの成果が市民アンケートになっていると思います。その中で、「する」「見る」「支える」という言葉が高校生にも刺さっており、部活と関係のない生徒が、委員会の活動で会場に足を運んだりしています。そのことから、「する」「見る」「支える」をもっと広げていけばいいと思います。また、アンケートの結果をピックアップして計画として様々な年代の方のために反映していただければいいと思いました。</p>

委員長

皆さんに意見を出していただいて、修正なり加筆なりを加えていただける御意見をいただきましたと思います。一応整理しまして、基本フレームについて第2章、第3章はおおまかにはこのような形で進めていきたいと思ひます。

ただ、今日いただいた御意見ですと、課題の抽出というところでは、今日の意見も踏まえたうえで、増やすなり、整理するなりということが出てくると思ひますので、それを受けてまた皆様に御意見いただくということになるかと思ひます。

本市のスポーツを取りまく現状と課題につきましては、いわき市以外の状況、全体の状況を把握しておかないと全体としてスポーツがどういう状況だとか、いわき市において進められている取組みなり、スポーツの状況が全国的にどういう状況であるとか、いわきFCについて取り上げてますけど、FCパークでは関係するけどJビレッジでは関係ないという話でもないので、その辺もいわき市との連携というのも課題の一つとしてありますし、本市を取り巻くスポーツの現状と課題というのを広めにとって今回の計画に必要な課題を抽出していただきたい。

第3章の基本方針で、特に異論が出るような内容ではないと思ひますが、個人的には「笑顔かがやく」という言葉はなぜ「笑顔かがやく」なのか、他の言葉で置き換えられないか、一番重要なことなのか、「スポーツ都市いわきの創生」でこの「創生」は、創生総合戦略が関わってくるということは、地方創生の意味を持たせる。地方創生というのは、人口増、経済の活性化というところがあるわけであります。スポーツ都市を進めていくうえで交流人口の増、さらには地域の活性化につながっていく。

サブタイトルとして、「スポーツを通じたひと・まちづくり」でありますけど、このままの言葉でいくと、ある種スポーツという手段を使って、ひと・まちづくりをするというのが、スポーツ推進計画というものの主であって、ただスポーツをすればいいということではないところで、作り手側としてはそのような視点でいいと思ひますけど、皆様も再度検討していただければと思ひます。

基本目標が3つあるということで、1つは、すそ野の拡大ということで健康等について話がありました。及び、具体的には、子どもたちがスポーツに関わるような仕組みをどうしていくのか、そのために学校施設をどのように活用するのか、中山間地域では、スポーツ施設が無くて実際に困っているとのことだす。中山間地域の閉校を利用できれば効率的だすけど、そう簡単な話ではないと思ひます。

そのような子どもをどう参加させるか、実際には、子どもにどれだけの時間があるのか、差があると思ひますので、一律にどうすることができるのか、そうなりますと子どもみらい部とも話し合い、連動する必要があるかもしれませんし、一方で公民館などの話が出ましたが、公民館で高齢者が多いところで、体操を推進する仕組みを作っているわけで

すけど、それがどれだけ効果的なのか、全般的に見て、今回の計画に合わせて、他のところとも連携が必要になるかもしれませんし、ある種棲み分けをする必要があるかもしれません。

裾野拡大ということで、どのようなことが課題なのか、今日出された御意見を少し深みをもって整理していただけたらいいと思います。

2つ目の地域活性化については、いくつか出ましたし、これを通していくのか。

3つ目のスポーツ活動を支える基盤については、地方になってきますと「支える」というところで主導者が限られた人になってきますけど、国ではオリンピックということでスポーツと縁がない人がスポーツに参加する、スポーツを見る等を含めて関わりを持っている。

スポーツを支えてきた人ではない人をどのように取り込むかというところになるかと思いますので、それを支える基盤の整備ということで、これがスポーツコミッション等につながっていくと思いますし、そのために観光交流が入っているわけですから、地域活性化及び、基盤整備というところでは、今までスポーツ計画では出てこなかった部分でありますので、その辺も事務局で整理していただければと思います。

全員ではなかったですが、出された意見は改めて時間をおいて、個別に意見を吸い上げることも事務局のほうでやっていただきたいと思います。

大きくは、基本方針、基本目標の3つということは、一応この形で進めるということとさせていただきます。そのうえで再度、委員会でたたくということとします。

以上